

2012 Japan National Team Report "sailor"



報告者	クラブ KMC横浜 ジュニアヨットクラブ 学年 9 氏名 高山 颯太		
大会名	世界選手権		
開催地	イタリア ガルダ湖		
大会期間	2013年7月15日～26日		
セールNo	JPN 3230	最終順位	176位

- 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中(mame-t@silverzaq.jp)までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接見して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	期間中はほぼ毎日、日が出ていたのでとても暖か過ぎやすかった。湖の水は浸かると寒く感じたが、ヨットに乗っていて体にかかる分は、下は海パン、上はランニングにバディ大丈夫。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	朝に陸からの風が吹いていて、お昼前後に風が変わって、逆の風が毎日決まって吹いた。波は、以外と大きかったが、ランニングでのパンポンで波に乗りきれない時があった。
セッティングで注意したこと	一番注意していたのはスプリットの調整と、それと同時にバンプやブリバンプの調節に注意した。
セーリングで注意したこと	スピードや、のぼり角度で負けないように注意した。タックブスピードを落とさないようにした。
海上で練習したこと	クローズの長い距離を走ったり、走りの確認をした。

実際のスベリはどうでしたか？	フレッシュウィンドで走ることができなくて、思い通りに走れなかった。
スタートは、どうでしたか？	1分前のポジション争いで負けてしまって、2列目、3列目からのスタートが多かった。
コース戦略はどうでしたか？	右の海面へ行って崖の近くでタックする。
自分より上位の選手との違いは？	スタート後のタックのタイミングや、我慢して右海面へ行くこと。
国内の練習で役立ったこと	メインリム
国内の練習で足りなかったこと	スタート練習、パンピング
印象に残った外国選手は？	SIN 115 SIN 118
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	もっと前の順位を走れているイメージだったが、全く違った。
今後の課題と目標は？	スタート後すぐの加速も大事にして競り勝つ。 ランニングで振れないで、良いイメージを持ってレースをする。
JODAへの要望	
その他	ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会